

あなたは健康ですか？

特定健診から 始める 健康づくり

苦小牧市国民健康
保険では加入者の医
療データなどを分析し、
加入者の皆さんの健康
づくりを応援しています。
特定健診や特定保健指導の受診率
向上に取り組み、市民の皆さんの
健康的な生活のサポートを
充実させていきます。

国保課
(32) 6425



市民の健康
づくりを応援

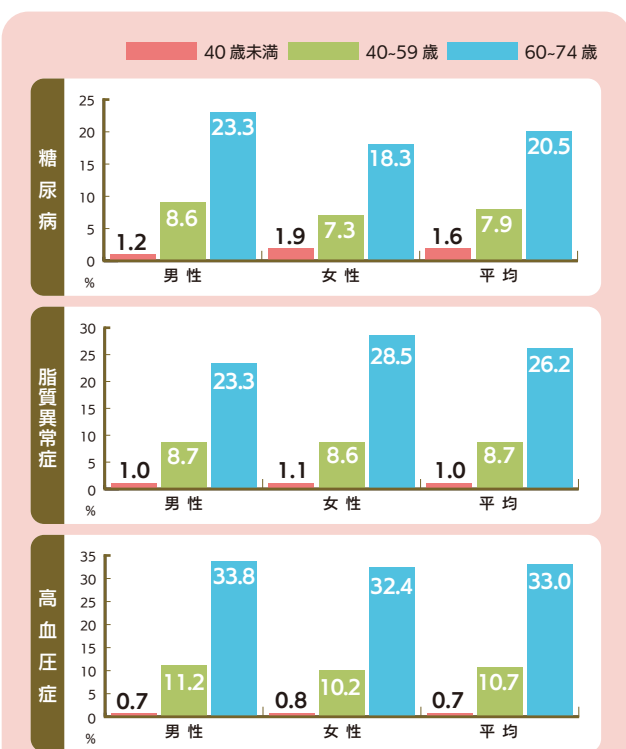
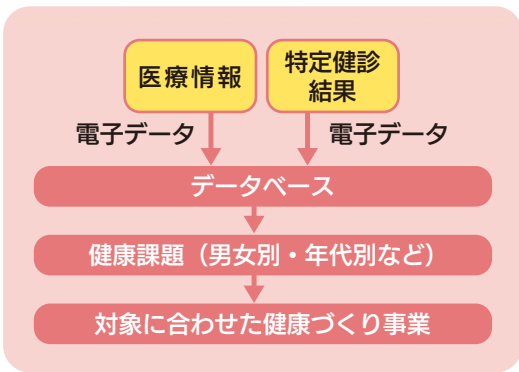
データで見る
苦小牧の現状

急速な高齢化やライフスタイルの変化などにより、医療費は年々増加傾向にあります。その中で、国保加入者の医療情報（診療報酬明細書）と特定健診などのデータを一つのデータベースで管理することが可能になりました。性別や年代別など対象に合わせた特定健診受診の促進などを効果的にしています。健康づくりの取り組みの充実により、病気の予防への意識を高め、増加する医療費の抑制につなげていきます。

苦小牧の国保加入者は、生活習慣病*の中でも特に「糖尿病」「脂質異常症」「高血圧症」が多い傾向がみられました。左図は生活習慣病治療者の国保加入者に占める割合を性別・年代ごとにグラフにしたものです。特に「糖尿病」は男性に多く、「脂質異常症」は女性に多くなっています。また、「高血圧症」は60歳以上の加入者のうち3人に1人が治療者となっています。

※生活習慣病について

サイレントキラーとも呼ばれ、40歳以上になると患者は増えます。自覚症状が少なく、痛みなどの明らかになりに病気が進行し手遅れになってしまうケースもあります。糖尿病、脂質異常症、高血圧症、脳血管疾患、虚血性心疾患などが代表的です。生活習慣病とは無縁だと思っているあなたにも静かに忍び寄っているかもしれません！



※生活習慣病治療者の国保加入者に占める割合 (%)